資料 - 5

# 環境影響評価を行うための 気象データ等について

# 観測地点



# 気象の観測項目

	気温	湿度	平均風速	平均風向	雨量
境外					
境内東					
境内西					
境内中					
本殿					
能楽堂					
住宅					
小松(アメダス)					

平成16年1月~平成18年までのデータを蓄積してきた。現在も観測中

# 気象庁小松アメダス観測所

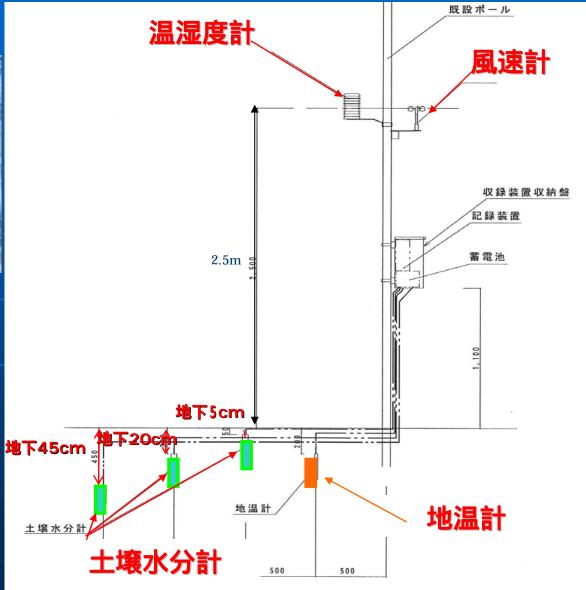


### 境内中





気象観測の方法



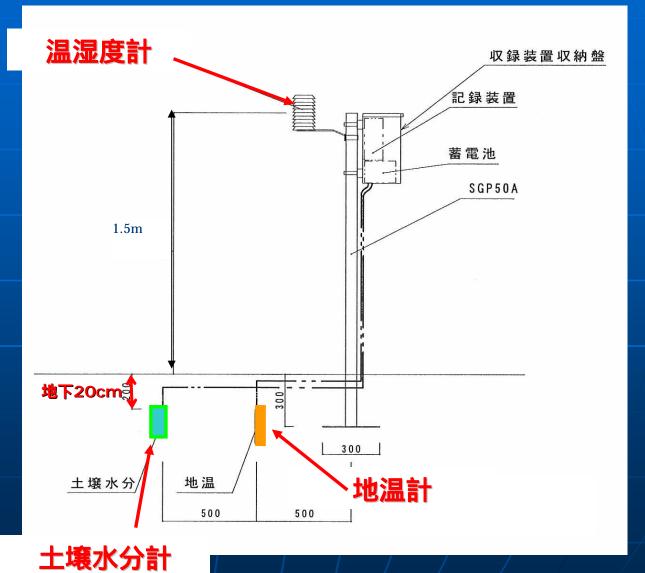
### 境内西、東





境内西

## 気象観測の方法

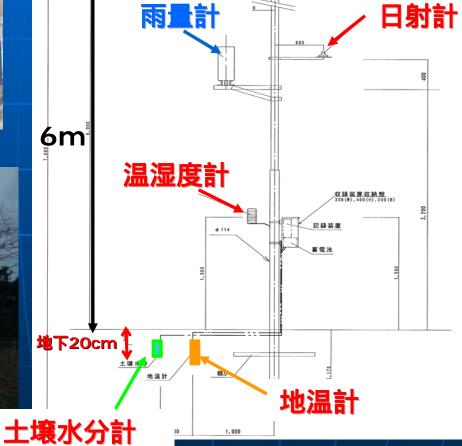


### 境外

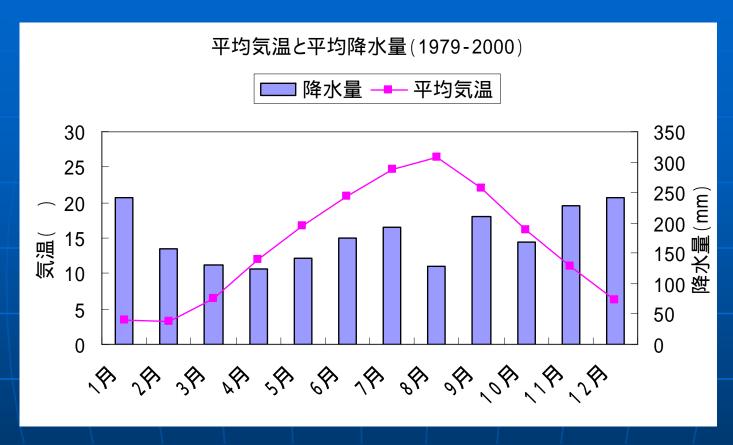
# 気象観測の方法

風向風速計



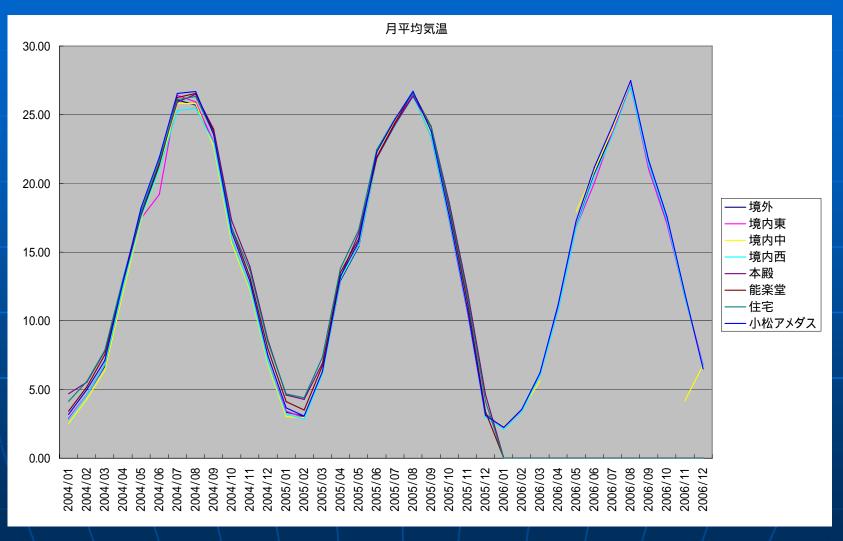


#### 小松市の20年間の月別平均気温と降水量



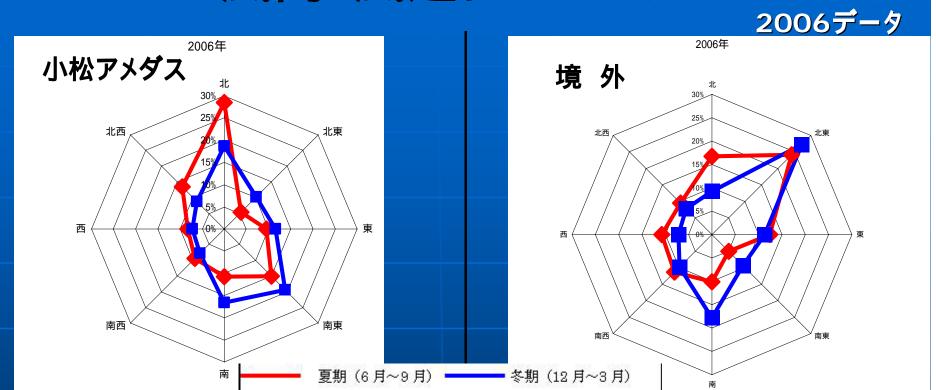
月別の平均気温は夏季に約26 、冬季に3 程度 年間の降水量は2100mm

#### 小松天満宮周辺の気温データ



小松(アメダス)観測所と同様の傾向

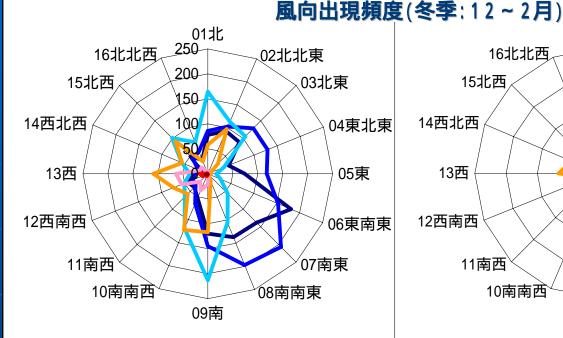
### 風向・風速について

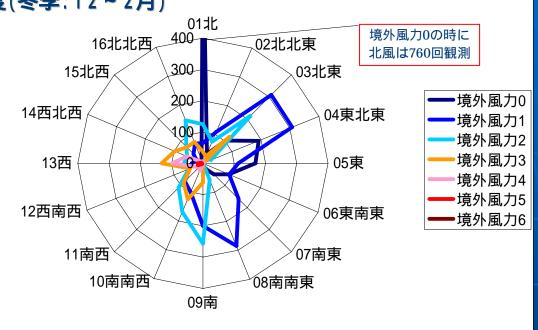


小松(アメダス): 夏季に北風が多く、冬季に南風が多い。

天満宮境外: 夏季・冬季とも北西風が卓越。

## 風速による風向きの違い



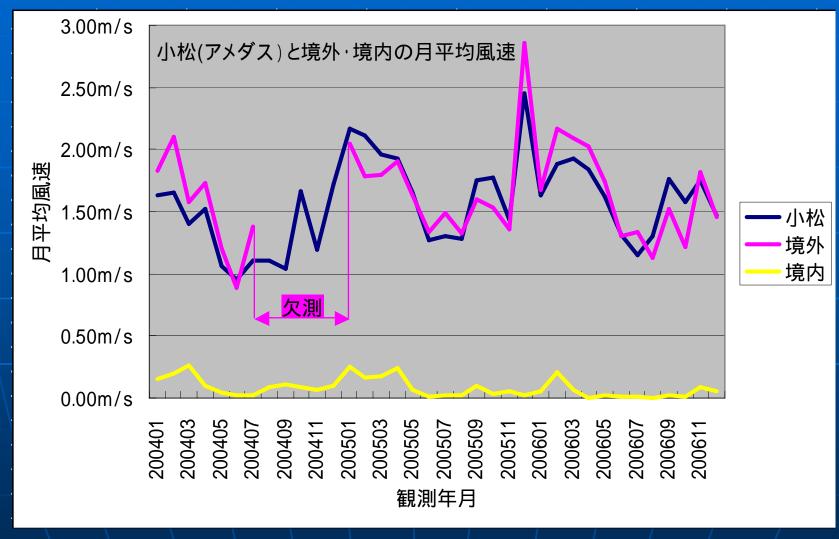


小松(アメダス)

天満宮境外

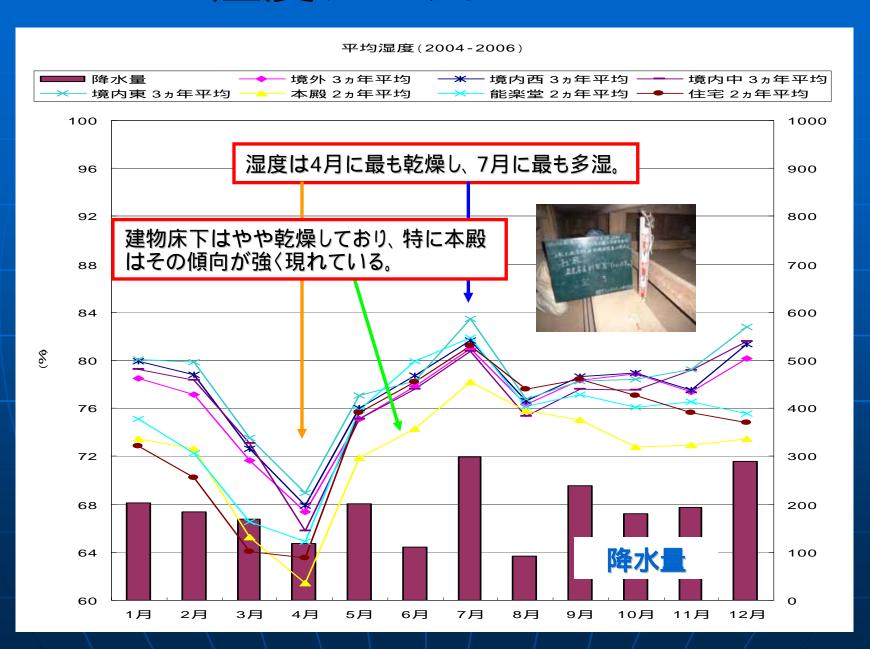
- ビューフォート風力階級により風速毎に風向きを分類すると風力4(風速5.5m/s以上)では西からの風が卓越

## 境外と境内の風速の違い

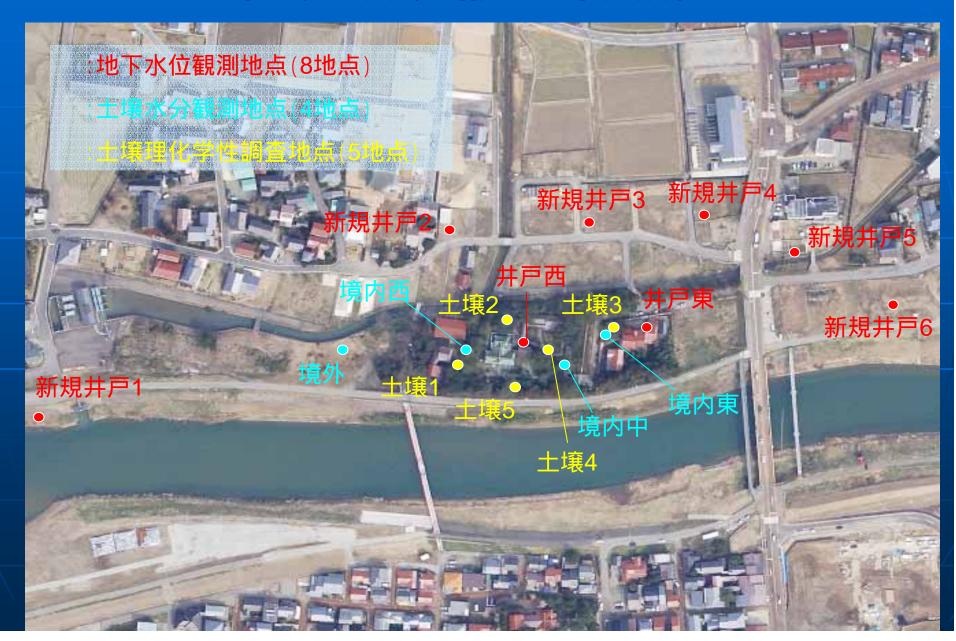


境外にくらべ境内の風速は非常に小さい

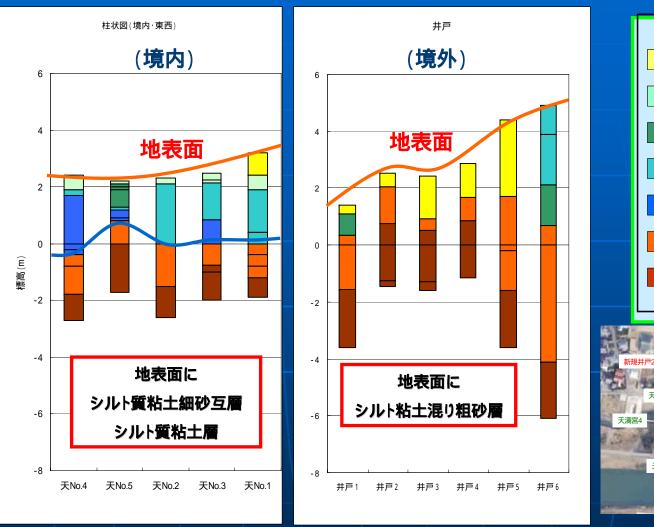
### 湿度データについて

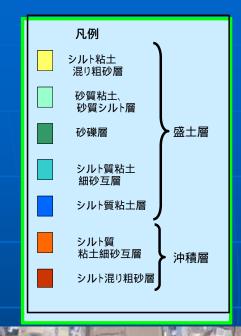


# 地下水環境調查観測地点



### 境内・境外の地表付近の土質の違い



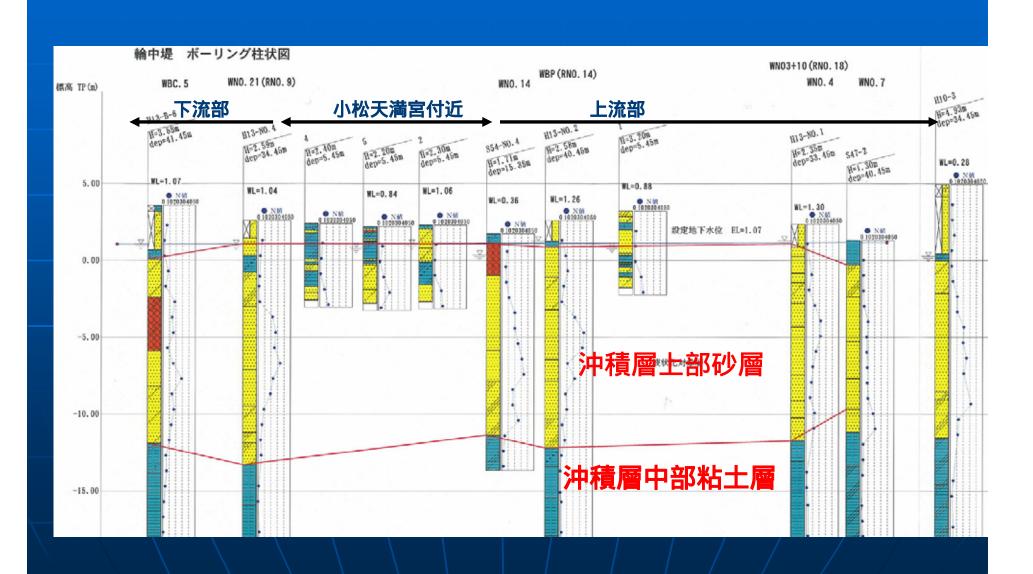




出典)左図:「加賀小松天満宮と梯川」(昭和60年、小松天満宮等専門調査委員会

右図:「平成16年度管内地質調査業務報告書」(平成16年、金沢河川国道事務所)

## 小松天満宮周辺の地質構成



### 境内の土壌の概要(平成14年度 国土交通省調査)

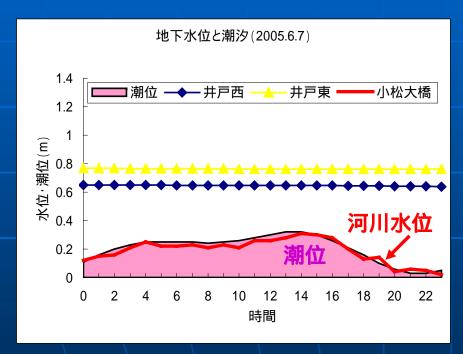
- ・表層1m以内の土壌はいずれも盛土によるもので、土性は砂壌 土が主体
- ・土壌のpHは5~7前後の強酸性~弱酸性であり、ご〈普通の酸度である。
- ·全炭素量は0.5~1%前後で全般的に腐植に乏しく、肥沃度は 比較的小さいと考えられる。
- ・貫入試験、現場透水試験の結果によれば、No.4地点(境内中央部)で土壌がやや硬く締まっていて固結状態にあるが、全般的に軟らかく、通気・排水性も良好であると考えられる。

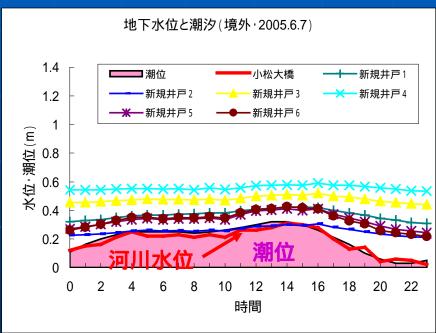
境内の土壌は植物の生育にとって良好な土壌であると考えられる。

また、土壌の浸透能の視点からみると、締め固めや踏圧の影響で土壌が硬く締め固まっている場所を除くと、通気・排水性は良好であると考えられる。

### 地下水位について

■ 境内井戸の水位は、河川水位との同調性が 低く、潮汐の影響を受けない。

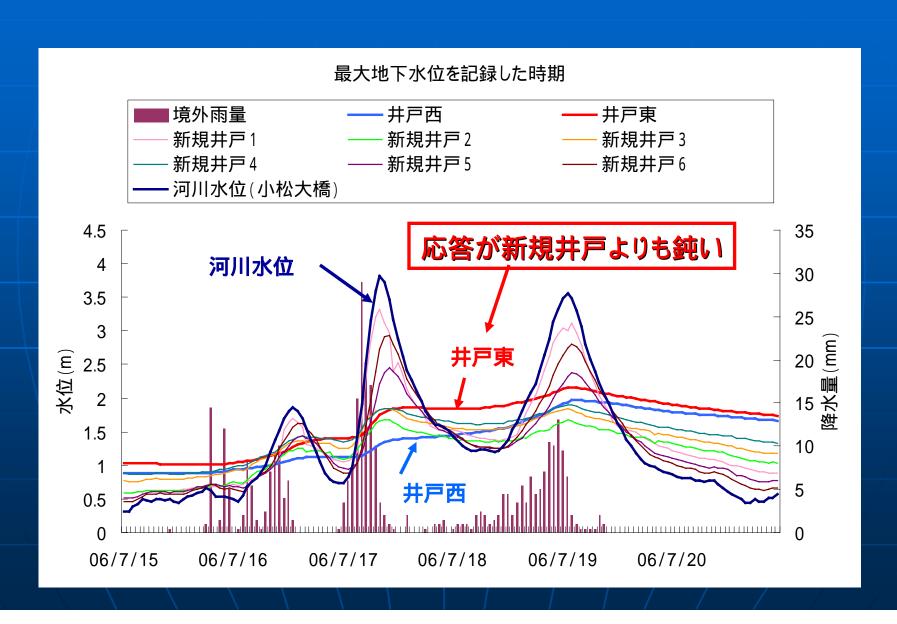




境内井戸

境外新規井戸

### 平成18年7月洪水時の地下水位



## 地下水環境の仮説

■ 新規井戸の地下水は沖積層上部砂層を帯水層とする<u>浅層の不圧地下水</u>と考えられる。

■ 境内井戸の地下水は新規井戸の地下水体とは分離独立して局所的に存在する自由地下水体、いわゆる<mark>宙水である可能性が高い。</mark>

# 追加調査の必要性

境内井戸が宙水起源であることの確認

溶存成分の比較やトレーサー試験

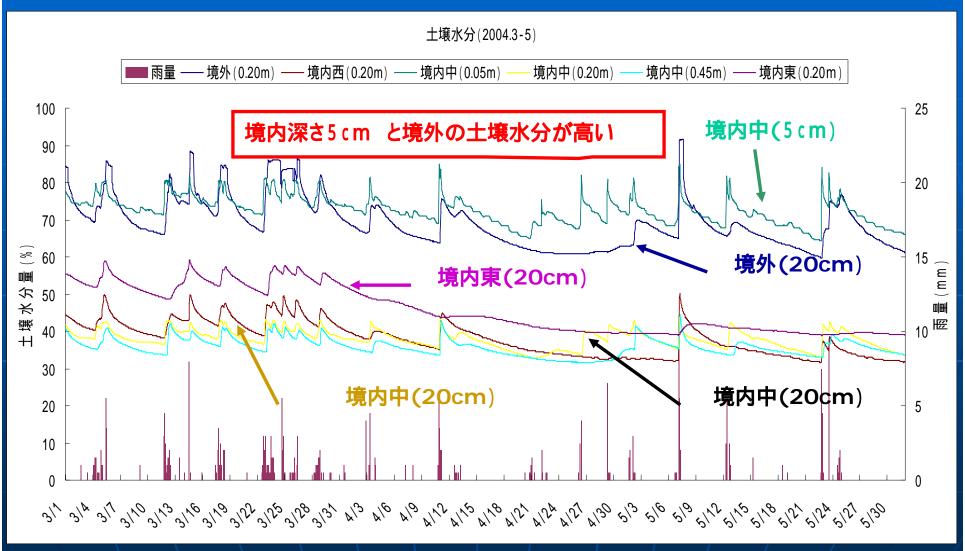
土壌中の水分動態検討の基礎的知見の獲得

· 土壌の孔隙組成の把握(pF 水分特性)

浅層地下水による涵養の可能性の検討

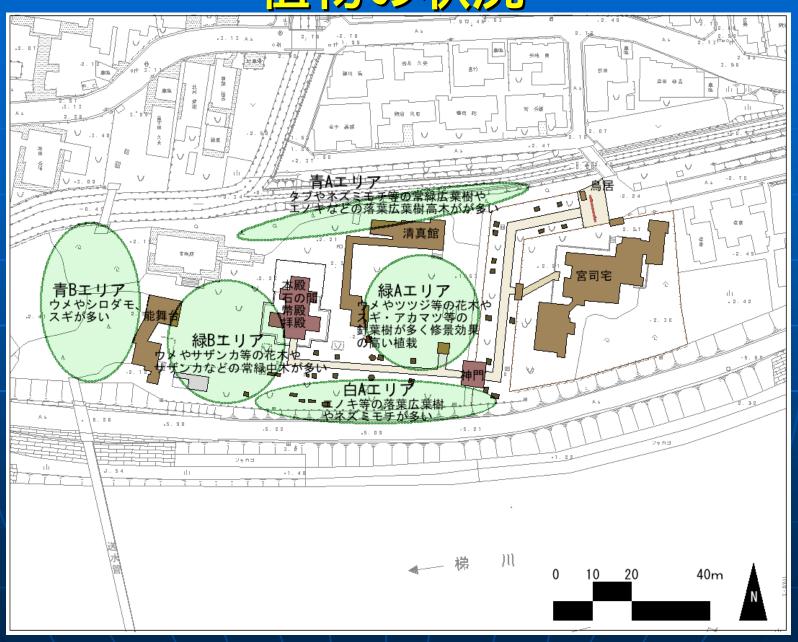
・土壌水分の変化量、蒸発散推定等

# 土壌水分の変動の特徴

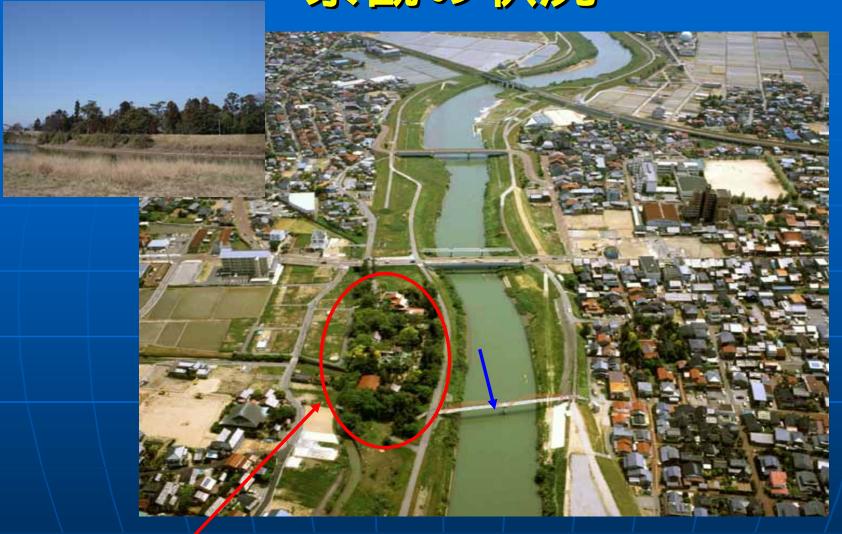


いずれも、地表付近では降雨に対する反応が鋭敏

植物の状況

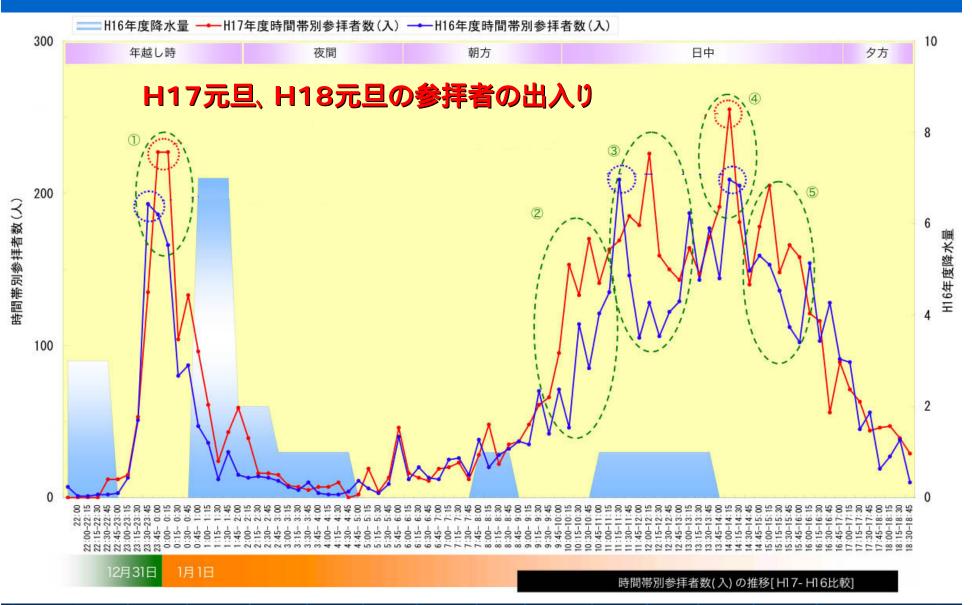


## 景観の状況



平坦な地形が広がる中、豊かな社叢林が小松市街地の特徴的な景観を形成

# 利用などの状況



## 自動車で訪れる利用者の状況

H17年度 16:00撮影







出典)「平成17年度小松天満宮参拝者実態調査報告書」(金沢河川国道事務所)



観光バスで訪れる利用者 (平成15年撮影)

### 防災設備の状況

- ・能楽堂東側に隣接して防火水槽やポンプ室が整備
- ・社殿周辺部には放水銃が設置
- ·堤防の管理用通路から消防などの防災活動のための アプローチ

